

ブロック塀等撤去工事 提出資料における参考資料

写真や記入例をご参考に作成をお願いいたします。
写真の枚数は決まっておりませんが、不明な点がある場合
追加資料として再提出を求める場合がございます。

1. 概要
2. 写真台帳の作成例
3. 拾い図 ・ 図面作成例
4. 工事見積書記入例



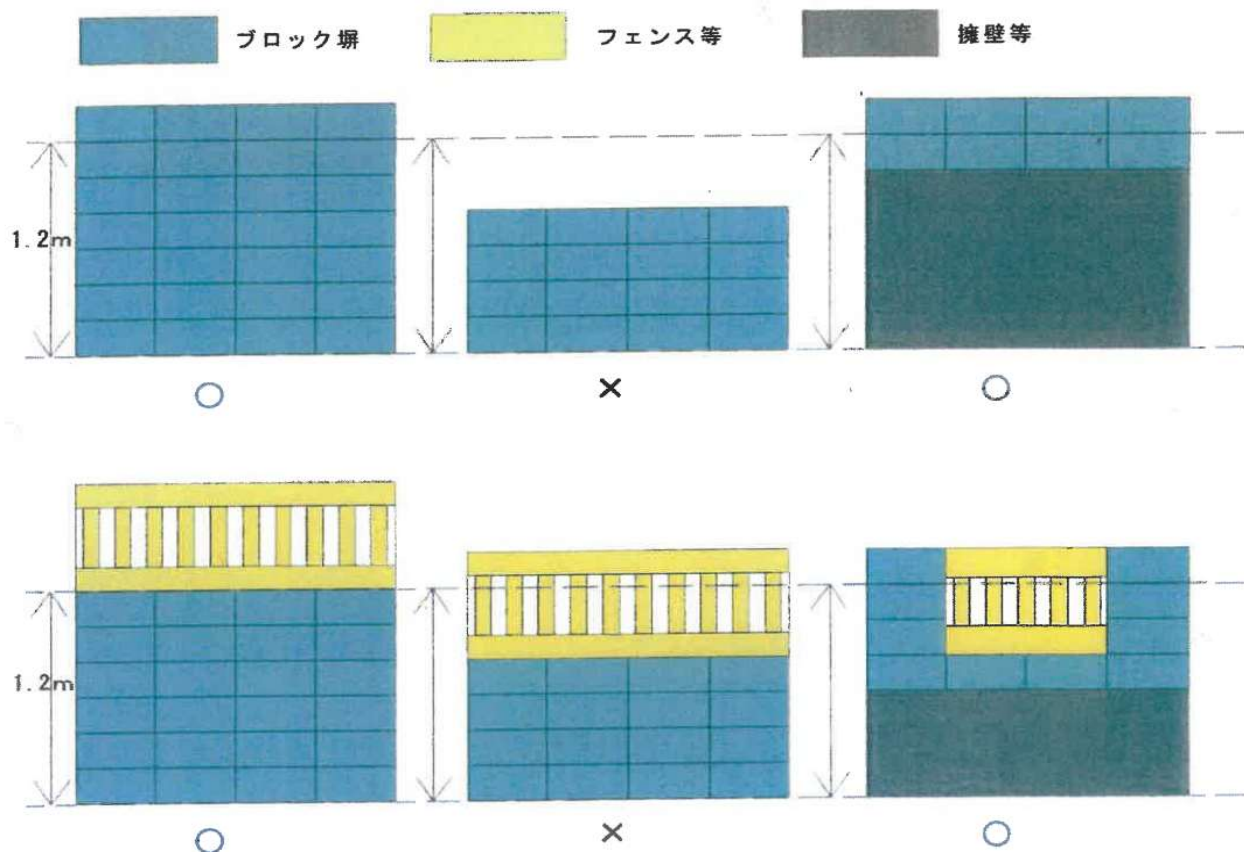
1. 概要

申請を行うには以下の条件がございます。

■ 申請条件

通学路区域内にある道路(ブロック塀、石積塀、その他組積造の塀)で道路面から高さが1.2mを超えるものを対象とし、当該ブロック塀等の高さ1.2m以下まですべて撤去または一部撤去する工事。

■ 対象となるブロックの条件



■ 補助金額

A・Bのいずれか少ない額が補助金額となります。※千円未満切り捨て

A	【基礎撤去無】ブロック塀等の延べ長さ×12,000円
	【基礎撤去有】ブロック塀等の延べ長さ×19,000円
B	施工業者からの見積×3分の2

ホームページ



※ 補助上限額 200,000円

■ 述べ長さが10mのブロックを撤去する場合の計算例

A : 10m(ブロック塀等の延長)×19,000円(基礎撤去有の場合) = 190,000円

B : 工事見積額 : 250,000円 × 3分の2 = 166,000円

結果 : 190,000円 > 166,000円 なので補助額は166,000円となります。

2. 写真台帳作成例（※必ず工事内容の説明を書くこと）

a. 着手前 ※工事前に全体がわかるよう写真を添付



着手前 全体図1



着手前 全体図2



着手前 全体図3

a. 着手前 ※延長がわかるようにスケールを用いて測る



【左側測定】

申請者：沖繩 太郎

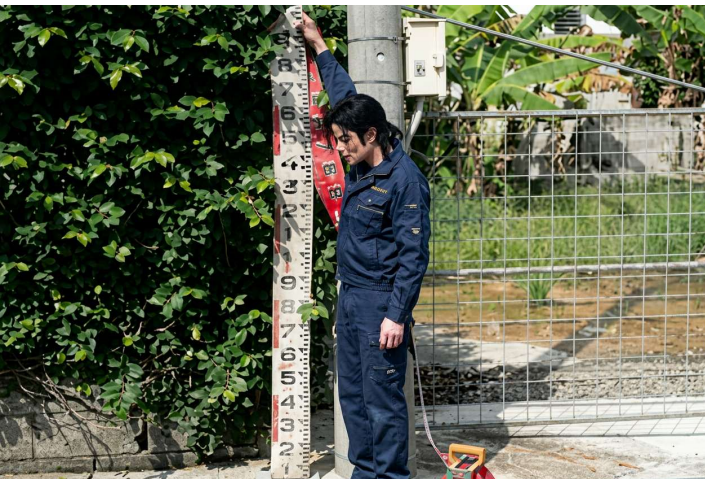
工事個所：沖繩市仲宗根町26-1

CB撤去・設置工事

H=約1m60cm



左側拡大図



【右側測定】

申請者：沖繩 太郎

工事個所：沖繩市仲宗根町26-1

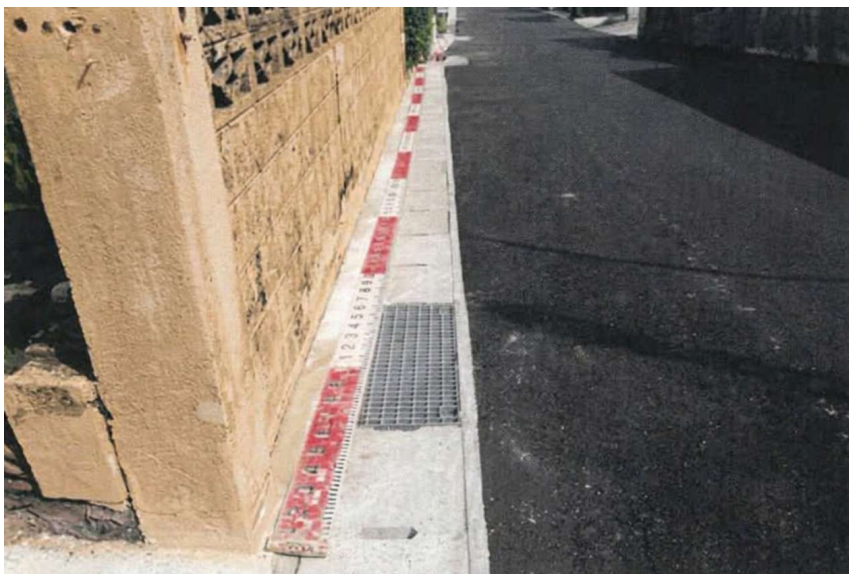
CB撤去・設置工事

H=約2m



右側拡大図

a. 着手前 ※延長がわかるようにスケールを用いて測る

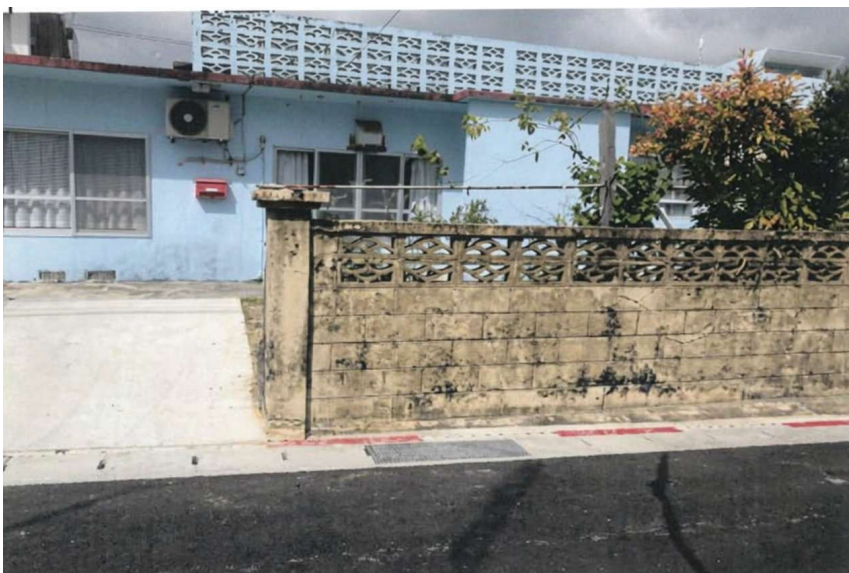


【延長測定】

申請者：沖繩 太郎

工事個所：沖繩市仲宗根町
26-1

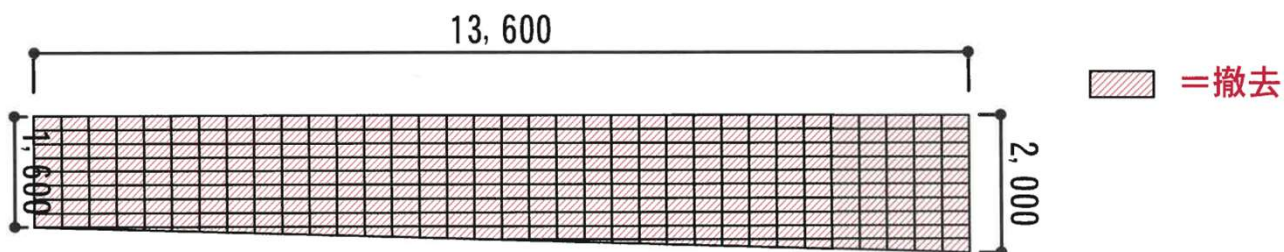
CB撤去・設置工事
L=約13m60cm



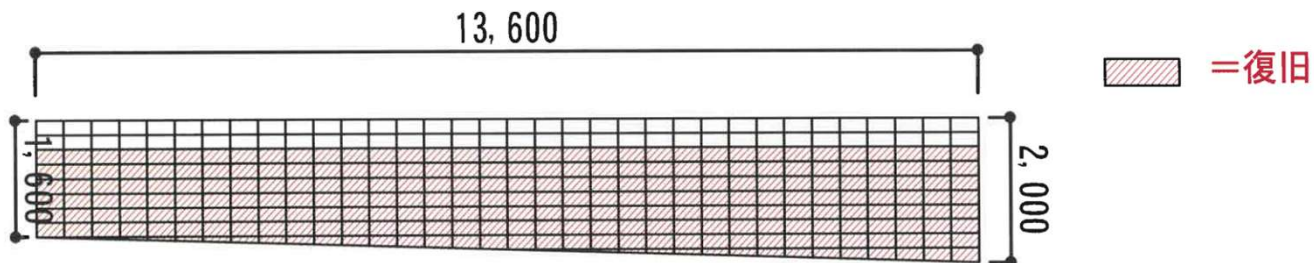
3. 拾い図・図面作成例

見積の根拠がわかる数量計算を表記した拾い図を添付してください。

解体予定部分の図



復旧予定部分の図



新設する場合、復旧予定図も添付してください。

4. 工事見積記入例

対象外の工事も予定している場合は、対象と工事を分けて内訳を作成してください。

工事見積書

年 月 日

施工業者／ 沖縄市解体工業

申請者名／ 沖縄 太郎

工事場所／ 沖縄市仲宗根町26番1号

※ 工事別で内訳を作成してください。

対象内訳	工事 個所	項目	単位	式	単価	金額
※1	CB塀	撤去工事	m	13.6	7,000	95,200
"	"	解体材処分	式	1	58,000	58,000
		重機・現場管理費・その他	式	1	29,891	29,891
						0
補助対象工事額 小計						183,091
※2		掘削、埋め戻し・残土処理	式	13.6	7,000	95,200
"		CB復旧工事(基礎栗石、基礎コン)	式	1	450,000	450,000
"		伐採・運搬・処分費	式	1	20,000	20,000
"		重機・現場管理費・その他	式	1	29,891	29,891
						0
						0
補助対象外工事額 小計						595,091
総工事費額						778,182
消費税(10%)						77,818
合計(契約金額)						856,000

選対
対象
し工
て手
く種
だ別
さか
いら

【対象工事種別】

※1 ブロック塀等撤去工事

※2 ブロック塀又はフェンス等の新設工事

補助額の計算方法について

概要欄にも述べているとおり、計算方法は二通りあり、いずれか低い金額もしくは上限20万円が補助されます。
前頁の工事見積書を計算した場合、以下の補助額となります。

【計算方法①】

- 施工業者からの見積×3分の2

補助対象工事	¥183,091
消費税	¥18,309
	¥201,400

$$¥201,400(\text{補助対象工事額}) \div 3 \times 2 = \boxed{¥134,266}$$

【計算方法②】

- 基礎撤去有19,000円 or 基礎撤去無12,000円 × 述べ長さ

$$¥19,000(\text{基礎撤去有}) \times 13.6\text{m}(\text{述べ長さ}) = \boxed{¥258,400}$$

計算方法①と②の金額が低いほうが補助額となりますので、計算方法①の

¥134,266で、134,000円 となります。(千円未満切捨て)